

議事録

作成日:平成30年12月3日

会議名	平成30年度 第2回学校運営協議会		
開催日時	平成30年12月3日	作成者	岸本
出席者 (敬称略)	(委員) 京都外国語大学教授 相川 真佐夫 高槻市立第二中学校長 北山 茂治 千里金蘭大学アドミッションセンター顧問 清水 信行 社会福祉法人照治会浦堂認定子ども園副園長 濱崎 心子 芥川高等学校PTA会長 水野 忠夫 (事務局) 校長 河方 智基 教頭 坂口 光芳 事務長 渡邊 総一郎 首席 大西 隆司 首席・人権教育推進委員長 藤原 啓明 進路指導主事 辻 麻衣子 事務局 岸本 昇馬		

議事

1、校長挨拶(河方校長)

2、資料の確認

3、協議

(1) 学校の様子(芥川新聞より) 藤原首席

- 258号より 和太鼓部 ポーランド公演 文化祭各クラスの活動
- 259号より 文化祭 受賞クラスの紹介 後夜祭
- 260号より オーストラリアミラニ高校生受け入れ 後期生徒会執行部 水泳部

〈委員からの意見〉

- ・芥川新聞の原稿を生徒が書くことはあるのか。ホームステイを受け入れた家庭の生徒の感想を載せてはどうか。
⇒過去に部活動の生徒が直接書いたことがある。ホームステイ受け入れ家庭の感想文集は別途作成済である。生徒と保護者にも書いていただいた。

(2) 平成30年度学校教育自己診断について 藤原首席

- ・生徒、保護者、教員対象に実施。
- ・生徒は12月10日テスト最終日に実施予定。
- ・保護者にはマークシート用紙またはインターネットで回答してもらう。
- ・変更点はいじめに関する質問項目を加えた。

(委員からの意見)

- ・いじめに関する質問項目だけ「～しようとしている」という聞き方が他の質問項目よりトーンが弱いように感じる。
⇒かなり議論した結果このようになった。学校に「いじめ」があるのでは誤解されないように配慮した。

(3) 平成30年度学校経営計画にもとづく本校の取り組みの進捗状況 河方校長

1、自らの考え行動し、主体的に進路を切り拓く力の育成

○学力の向上

- ・短焦的プロジェクター4台はよく利用されているため今年度もう1台購入
- ・11月を「授業力向上月間」として若手教員2名による研究模擬授業および研究協議を実施
また、「新学習指導要領に向けた今後の授業のあり方」をテーマに教員研修を実施

○希望進路の実現

- ・「3年間の学び」が一覧できる表の作成(学校案内パンフレットにも入れた)

2、グローバルな視点で考える力を持った生徒の育成

○使える英語力と国際感覚の育成

- ・高大連携によるグローバル専門コースの充実(来年度のグローバル専門コース希望者50名)

- ・英検受検者数増加
- ・オーストラリアの高校との国際交流(生徒17名、教員3名をホームステイ受け入れ5泊6日)
- ・2年生の台湾への修学旅行と学校交流(10月24日～10月27日)

3、豊かな人間力を持った生徒の育成

○体験学習の充実、学校行事・部活動の振興

- ・2年全員が高齢者施設実習へ
- ・2年全員が認定子ども園で保育実習
- ・和太鼓部ポーランドの国際大会に出場し特別賞受賞、水泳部 近畿大会出場

○規範意識の醸成

- ・1学期遅刻者数全学年で昨年度より大幅減少
- ・懲戒件数は1、2学期で2件

○人権意識の向上

- ・1年「性の健康講演会」(デートDVについて) 2年人権講演会 部落差別について
- ・スクールソーシャルワーカーによる職員研修実施

4、信頼される学校づくり

○教員力の向上

- ・次世代教員研修会を開催し「芥川高校生をどのように育てるか」をテーマとし、どのような授業づくりが必要かなど全体の教員研修で発表、意見交換を実施

○情報発信力の向上

- ・災害時の緊急連絡および安否確認のための生徒用メールマガジンの登録、運用を開始
- ・オープンスクール参加者数 昨年度より106名増加

〈委員からの意見〉

- ・学校経営計画において、「学力の向上」については生徒対象より、教員対象の項目が多い。
⇒生徒が主語になるような記述を心がけたい
- ・「3年間の学び」を中学生に提示させるのは良い。大学でもロードマップとして大学生活での学びを提示している。
- ・携帯指導の効果は出ているか。
⇒地震後、緊急時に備え、暫定的に校内での携行を認めたが特に目立った違反はなかった。指導は浸透していると思う。
- ・保育実習では学校では見せない生徒の顔が見られる。子どもも非常に楽しみにしている。保育職を目指す人の増加につながってほしい。
- ・授業充実の組織的な取り組みはあるか。
⇒教員が個々にICT機器を活用したり、グループ学習を取り入れるなど工夫はしている。グループ学習では生徒の語彙不足が課題であると感じている。
- ・生徒の自学自習力が身につけているかどうかの指標になるものはないか。たとえば、自習室の利用状況を指標にすればよい。

(4)進路指導部より 辻進路指導主事

- ・就職試験結果について
学校斡旋就職希望者 8名全員が内定
- ・校内模擬試験の受験状況
- ・指定校推薦内定状況
前年度入試の結果は厳しかったが指定校推薦等内定者数は増えず、前年度並み。
- ・センター試験出願者数 昨年度より増加。
- ・大学予約奨学金申請状況
200名以上の申請があり、担当者は問い合わせ対応など多忙を極めている。
- ・11月より公募制推薦入試が始まっているが、入学者定員厳格化の影響を受け、苦戦している。一般入試まで頑張ってもらいたい。

(5)平成31年度使用教科書採択報告 坂口教頭

- ・選定の観点、選定の経過を報告。
- ・各学年、各教科の選定理由一覧を提示。

(6)その他

- ・保護者からの意見書について 今回も提出はなかった。

7、連絡

・次回予定

平成31年2月予定

議題:・平成30年度学校経営計画にもとづく取り組みの学校による自己評価

- ・平成30年度学校教育自己診断結果報告
- ・平成30年度授業アンケート報告
- ・平成31年度学校経営計画案 など

・議事録の公開について